

# 市民の命と暮らしを守る府中市政の実現!

## 01 市民に開かれた議会を!



市議会は市の施策や事業について、市民にとって本当に必要なことなのか、公正に効率的に行われるのかをチェックしなくてはなりません。新しく実施した施策についてはその後を検証するとともに、市民の意見や疑問を議会に反映していきます。

## 03 住みやすく、子育てにやさしい府中市を!



府中市の現人口は3万8000人を切ってしまいました。2004年(平成16年)の合併時から、1万人近く減少しました。少子高齢化(過疎化)に歯止めをかけるため、3歳児未満の保育料の保護者負担の軽減や小・中学校の給食費等の軽減をはかっていきます。また、鳥獣対策や後継者づくりなど、農林業への支援を強化します。

## 02 市民の命を守る地域医療の充実を!



新型コロナウイルスの感染は多くの国民の命を奪い、生活や仕事を脅かしています。一方で、国は公立病院の縮小や統廃合を進める計画を進めようとしています。府中市民病院と府中北市民病院の存続をはかるとともに、感染症対策や産婦人科・小児科などの機能の充実をはかっていきます。

## 04 平和と人権を大切にする府中市を!



1984年(昭和59年)につくられた「非核・平和都市宣言」をもとに、府中市の平和行政の具体化をはかります。また、ジェンダーフリーや夫婦別姓の取り組みを進め、あらゆる差別や偏見、虐待やいじめをなくしていく取り組みを強めます。

## 05 魅力ある街づくりの推進を!



街中の賑わいを取り戻すためにも、JR府中駅の改築(南口の新設・連絡道)は避けて通れません。また、以前に計画のあった荒谷-協和トンネルは、上下-府中間の移動時間の短縮や、災害時の交通手段の確保の役割を期待されています。大きな課題の実現に向け市民の理解を広げていきます。



あなたと共にたしかな街づくり

水田 豊  
みず た ゆたか